

市議会議員小池みよ子の **ひたすら鹿嶋のために**

活動報告 Vol.3



小池みよ子
後援会会報 vol.3

【発行】
小池みよ子後援会
〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2
TEL 0299-83-5252
携帯電話: 090-1690-0136

所属委員会

総務企画委員会 副委員長 / 議会運営委員会 / 広報委員会

議会報告

平成23年度6月市議会 一般質問



議員として、私の思いを込めた一般質問です。

先の震災で被災されました多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして、今回の震災で大きな働きをされました、FMかしま市民放送のアナウンサーを始めスタッフの皆様の熱意と努力に心から感謝を申し上げたいと思います。本当にご苦労さまでした。さて、今回の質問は、東日本大震災における鹿嶋の被害状況、そして、復旧と復興に向けた取り組みについて、また、図書館運営についての提案をさせていただきました。

皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。

質問 1、鹿嶋市の被害状況、復旧と復興状況について

Q₁ 道路や上下水道の本格復旧計画について

市内で多くの道路、上下水道が甚大な被害をうけました。まずはライフラインの整備からと、必死の復旧作業が進められ、作業関係者各位には心から御礼申し上げます。大震災から3カ月(6/15日現在)が過ぎ、今の状態は、応急処置の状態、市民は一日も早い本格復旧を望んでおります。道路の高さ、雨水排水路の高さが決まらなければ、自宅の本格復旧に入らず、土地そのものが境界の杭ごと動いてしまった鉢形地区などは、次へのアクシジョンを起こせないとの苦情が多く寄せられています。一日も早い本格復旧を望みますが、市の再建計画をお示し下さい。道路の損壊状況を見て回ったところ、上下水道の配管の埋戻し箇所に、特に大きな被害が見られたように思いましたが、埋戻しの工法に問題はなかったのかもお聴かせ下さい。

A₁ 道路に関する本格復旧ですが、応急対応として砂利あるいは仮舗装をしてあるところから本格的な復旧工事を予定しています。本格復旧は国の災害補助制度を活用していくことになり、現在、国の査定を受けているところで、すべて終了するには7月いっぱいかかる予定です。査定の済んだ所から復旧工事を発注してまいります。下水道の復旧ですが、同様国の災害査定を受け、国庫補助金を活用しながらの復旧となります。上水道については、地震対策として老朽管等の更新事業を進めていくこととなります。上下水道の埋戻しの件ですが、県の基準に従い埋戻しを実施します。

Q₂ 罹災ごみの処分について

5月10日までの2カ月で全壊または大規模半壊の判定を受け壊すことが出来た家屋がいったい何棟あったでしょう。全壊、大規模半壊の診断を受けた取り壊しがレキに限って当分の間、無料で引き取るという処置を考えて頂けないでしょうか。

A₂ 被災ごみの受け入れは未計量としましたので、全量及び何棟分に相当するかは把握出来てません。5月10日現在で、推測では約6,500トン以上搬入されたものと考えています。一般生活ごみ処理全体に支障が出る事態も考えられますので受け入れは難しい状態にあると考えております。多くの市民が修理を待っている瓦やコンクリートなどは、まだまだ復旧に時間がかかることが予想されますので今後についても受け入れは継続させていただきます。

土塵作りの名人!



↓ ウラ面に続きます。



ブログ を立ち上げました。

覗いてみてください。皆さまのご意見もお気軽にお寄せくださいませ。

小池みよ子の思い

検索 <http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>

Q₃ 今後の防災対策について

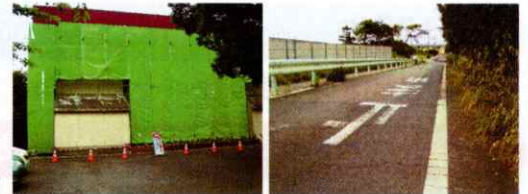
震度6弱の地震を、身をもって貴重な体験をしました。一番のショックは防災無線が地震と同時に壊れて全く機能しなかったこと。電話も水も電気もダメ。市は、今回の事故でデジタル無線方式の防災無線を採用しましたが、所詮機械です。難聴地区もかなりあると聞きます。2の手、3の手はどのように考えているのか、同時に防災井戸を市内14カ所に掘ってありますが、避難所となる所にはあったのかどうかお聞かせ下さい。大地震が明日起きても不思議はない状況ととらえたとき、真剣に対策をすべきかと考えます。又、長栖地区をはじめ、市内に於ける津波の状況と今後の対策は如何でしょうか。

A₃ 防災無線の故障時の対応については、市広報車、消防車両、地区消防団の広報を初めメールや回覧等により緊急情報伝達手段の調査検討を進め、より良い周知方法を検討してまいります。防災非常井戸の整備につきましては、現在14基が設置され、大野地区の一時避難場所には6基、避難所には2基設置されており、大変助かったとの声が寄せられており今後は、避難場所への設置を進めます。長栖地区及び市内海岸線の津波の状況ですが、関係部署と連携をとり、対策を進めています。港湾整備面では引き続き減災対策の取り組み等について県や国への要望を強めてまいります。

質問2、教育施設の復旧について

Q₁ 小、中学校の被害状況と復旧計画は

校庭の放射能の数値はこども達の健康への影響は心配ないのか、そして、学校施設の被害状況及び復旧計画をお聞かせ下さい。



被災した鉢形小体育館

平井小通学路

A₁ 放射能の数値は、文科省が通知した基準値である3.8より大きく下回っていますので、安全であると判断しております。ただ、今後の放射線量の動向あるいは長期化した場合どうするのか、それから国の基準の見直しということも踏まえて、推移を見ながら検討してまいります。現在でも ホームページで毎週、小学校については掲載しています。施設関係ですが、小中学校、幼稚園につきましては、第2幼稚園が、地盤の亀裂、陥没等でこのまま使うことができなく、今回の補正予算に建設経費を計上し、今年度中に新園の建設をおこないます。鉢形小、大野中では体育館に被害が出ており、既に復旧工事に着手しております。その他、順次復旧工事を実施していきます。

Q₂ 平井小学校の津波対策と非難誘導路の必要性について

この震災で一番心配になったこと、それは平井小学校です。砂浜の上に立っているような学校であることは市民の知るところで、本来なら高台への移転を提案したいところですが早急には間に合わない大仕事。せめて避難通路として、小学校から平井郵便局の通りまでの道路の拡幅と整備を提案するものです。想像してみてください。幅4メートルの細い避難路を420人を越す児童が必死で避難している姿を。

A₂ 平井小学校では今回の震災後、危機管理マニュアルを一部見直しまして、保護者の皆さんへの周知も図っているところです。非難の時間短縮を図るために避難経路も見直し、郵便局へは真直ぐ上がるように改善しております。また通学路も危険な個所を避けるように見直しをしております。見直した計画のもとで今回訓練をして平井中学校までの時間を数分短縮できたとの報告で引き続き訓練を重ねて、検証しながら、児童の安全確保に努めてまいりたいと考えております。

質問3、図書館運営について

Q₁ 乳児健診時における「貸し出しカード」発行について

鹿嶋市は、ブックスタート事業を取り入れ、乳児健診時に絵本の読み聞かせと絵本のプレゼントを、4カ月健診時に実施しています。そこで、それを一歩進めて、乳児健診時に図書館の「貸し出しカード」を発行し、親子読書を奨励して、一人でも多くのこども達が絵本とふれあい豊かな情緒を育むためにも如何でしょうか。

A₁ 乳児の段階でより本に親しんでもらうということで図書館の貸し出しカード発行につきましては、保健センターとも連携して十分に検討させていただきます。



「ブックスタート」とは?

全ての赤ちゃんの周りで、楽しく暖かいひとときがもてることを願い、一人ひとりの赤ちゃんに絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡す事業です。

質問2回目

平井小学校から郵便局の信号のところまで拡幅を前向きに検討して下さるという回答いただきましたので、大変質問したかいがあったと思っております。なぜ長栖の人たちが、この津波を人災だと言っているかという、人が形を変えたところ、それに対して波が集まってきたところを指摘しているのです。そういう意味で長栖の人たちの要望も真摯に前向きに受け止めて対応していただきたいと思います。

あなたの声を大切に！ 何時でも、何処でも私に声をかけてください。みなさまの“声”をお待ちいたしております。